

授業科目名	母性看護学実習(2300408)		
時間割名	母性看護学実習(70222)		
時間割担当	服部律子 美甘祥子 高田勝子		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

母性看護学実習では、次のような目的のもとに学修します。

1. 周産期の母子とその家族の特性を理解し、母子やその家族が健康な生活を送ることができるよう、対象の個別性に合わせた看護を実践できる能力を養う。
2. 実習をとおして、自己の生命観や親になること、家族の形成について考える機会とする。

学習の到達目標

この科目では、次の7つの目標の達成を目指して学修します。

1. 周産期にある女性の身体的、心理社会的特性を理解し、アセスメントできる。
2. 新生児の生理的变化を理解し、健康状態をアセスメントできる。
3. 周産期にある女性への看護を実践できる。
4. 新生児への看護を実践できる。
5. 母乳育児への支援を試みることができる。
6. 周産期の母子を中心とした拡大する時期の家族への看護のあり方を理解できる。
7. 生命や親になること、家族を形成することについて自分の考えを述べるができる。

授業方法・形式

実習施設（周産期医療施設）で臨地実習を行います。

授業計画

1. オリエンテーション、実習のまとめを含め、2週間の臨地実習を行います。
2. 実習では、外来での妊婦の看護、産褥期の母子に対する看護など、周産期の母子への看護を行います。
3. 毎週、月・火・木・金は、実習施設で周産期の母子を受け持って実習します。
4. 毎週水曜日は、学内で学びを整理したり、深めたり、臨地実習で必要な実技の確認を行います。
5. 自己の学びを整理し学びを深めるために、臨地で週に1回、1時間程度のカンファレンスを行います。
6. 実習配置、実習スケジュール等の詳細は実習の手引きに示します。

成績評価の基準

実習目標への到達度(実習内容、実習記録、最終レポートを含む)80%、カンファレンスへの参加状況10%、実習態度10%

準備学習・復習及び授業時間外の課題

実習での学びの整理、対象への看護を実習するために必要な復習を毎日、実習終了後に行い、翌日の実習に臨んでください。

履修上のアドバイス及び留意点

今までに学んできた母性に関する科目だけでなく、看護の基礎となる科目での学びを統合するよう心がけてください。

皆さんの学習にご協力くださる母子やご家族に対し、学習者としての真摯な態度で実習してください。

また、わからないことや困ったことなどはすぐに教員や臨地実習指導者に相談してください。私たちは皆さんが有意義で学び多い実習ができるようサポートしていきたいと思っています。

実習中は感染予防行動に努め、体調管理を行ってください。

教材・教科書

特に定めなし。今までの母性看護学系の科目で使用した教科書を使用してください。

参考書

適宜、紹介します。